

【消化器外科】

経皮経食道胃管挿入術(PTEG)

国吉病院

医師 小田 浩睦 さん



経皮経食道胃管挿入術(PTEG)は、非破裂型穿孔(せんし)用バルーン(風船)カテーテルを用いて、超音波下において頸部の食道を刺してトンネル(食道瘻)を造設し、同部より胃あるいは小腸までのチューブを挿入留置する手技です。

要のある患者さんの苦痛を軽減するために考案された方法ですが、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)と同様に、栄養を注入するのにも用いられます。

というのは、PEGという手技は、胃切除後や腹水貯留など患者さんの状態によっては施行不能もしくは困難なことが適応となる患者さんの

10%程度に見られるのです。そのため、PEG不能と言われて経鼻でのチューブを長期に留置されている患者さんもたくさんいらっしゃいます。経鼻チューブの長期の留置で困っている患者さんがおられましたら、ご相談ください。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他